

学位授与の方針（大学院）

（１） 工学研究科修士課程

機械工学専攻

[学位授与の方針]

下記の能力を備え、国際的視点に立った幅広い見識と専門知識を生かして地域社会や国際社会で幅広く活躍できる高度な技術者を育成する。

- ・ 機械工学における高い専門知識を生かして機械および機械システムを総合的に捉え、問題解決が行える。
- ・ 設計・製作・解析・評価・管理が行えるための機械工学の知識を有している。
- ・ 先端技術を理解し、新技術に関して興味を持ち続ける。
- ・ グローバルな視点に立った幅広い知識を修得する。
- ・ 柔軟な発想とリーダーシップを発揮して問題が解決できる人間性を有する。

電気・電子工学専攻

[学位授与の方針]

下記の能力を備え、電気電子工学分野において高度で専門的な技術者として認められる者に対して学位を授与する。

- ・ 電気電子工学分野の基礎的専門知識および技術を持ち、多様な社会に柔軟に対応できる。
- ・ 目標設定とそのための課題解決ができる。
- ・ 先端技術分野を理解し、新技術に対して興味・関心を持ち続ける。

建築学専攻

[学位授与の方針]

建築学専攻では、以下に示す高度な能力を備えていることを修士学位授与の方針とする。

- ・ 建築またはインテリアデザイン分野の先進的な専門知識を、建築生産活動の実践を通して社会に還元できる能力。
- ・ 建築またはインテリアデザイン分野の先進的な専門知識を、建築生産活動の現場において、さらに発展させることのできる能力。
- ・ 建築またはインテリアデザイン分野の幅広い基礎知識を有し、社会人としての健全な倫理観に基づいて行動できる能力。
- ・ 建築家、インテリアデザイナー、あるいは建築技術者として幅広い関心を持ち、地域社会のみならず国際社会においても活躍できる能力。

都市環境デザイン学専攻

[学位授与の方針]

下記の能力を備え、都市環境デザインの分野において高度で専門的な技術者として認められる者に対して学位を授与する。

- ・ 実験や調査を計画・遂行してデータを正確に分析、論理的に考察し、それらを整理して発表できる能力を有している。
- ・ 課題を探究して自主的、継続的に学習でき、与えられた制約の下で解決のための過程を構築できる実践的能力があると同時に、それらのリーダーシップがとれる。
- ・ 学際的な視点に立って、安全で快適な都市環境、とりわけ持続的発展可能な社会基盤の整備、またはにおい・かおりを考慮した快適な住環境の整備に必要となる工学的手法を修得している。
- ・ 倫理観に根ざした責任感を持ち、社会に貢献したいという高い意欲を有している。

(2) 工学研究科博士後期課程

材料・環境工学専攻

[学位授与の方針]

下記の能力を備え、材料及び環境工学の分野において、社会で幅広く柔軟に活躍できる高度な技術者として認められる者に学位を授与する。

- ・基盤的・先端的な専門知識を有し、材料・環境システムを総合的に考え、設計・製作・評価・管理する能力を有する。
- ・先端技術や新技術に対して、他分野の技術者・科学者と協働して取り組むことができるコミュニケーション能力を有する。
- ・グローバルな視点から物事を考え、協調性と高い倫理観をもって自ら行動する力を有する。

博士後期課程においては、当該研究科の定める期間在学して、工学研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を受け、所定の授業科目を履修して、基準となる単位数以上を修得し、かつ所定年限内に工学研究科が行う博士論文の審査及び試験に合格し、課程を修了することが学位授与の要件である。

(3) 情報学研究科修士課程

情報学専攻

[学位授与の方針]

専門分野に応じた下記の能力を備え、高度で専門的な情報システム技術者として認められる者、情報コンテンツに対する社会的要請に応えることができる者、または経営と情報の視点から様々な問題の解決に当たることができる者に対して学位を授与する。

- ・コンピュータとネットワークの基本原則と先進技術を理解し、情報システムを開発・運用することができる。
- ・コンピュータを駆使して、情報コンテンツの制作、製品のデザイン、情報戦略の企画を行なうことができる。
- ・経営分野や情報分野の専門的な知識を持ち、社会や経済・経営における様々な問題に対して、現実的な解決方法に結び付けることができる。